

令和 5 年 8 月 4 日
九州地方整備局
大分河川国道事務所



大分市に新たな道の駅が誕生します！ ～大分県では 26 駅目～

このたび、第 59 回登録（令和 5 年 8 月 4 日付け）において、県及び市町から「道の駅」登録申請が行われ、全国で 5 駅が登録され、合計 1,209 駅となりました。

大分県内では、新たに大分市に 1 駅が登録され、合計 26 駅になりましたのでお知らせします。

【新たに登録された「道の駅」】

〇 たのうらら：大分県大分市大字神崎字梶原^{おおいたけん おおいたし おおあざ かんざき あざ かじわら}1228番9

- 国土交通省大分河川国道事務所のHP
<http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所
電話：097-544-4167（代表）

技術副所長（道路）
計画課長

甲斐 猛
梶尾 辰史

（かい たけし）
（かじお たつし）

大分県内「道の駅」位置図



凡例

● :道の駅位置

大①～②⑥:大分県内道の駅の登録順を示しています。

道の駅「たのうらら」

◆路線名：一般国道10号

◆所在地：大分県大分市大字神崎字梶原1228番9
おおいた かんざき かじわら

◆面積および施設等

・面積：17,520㎡

・施設：駐車場270台、トイレ74器、情報提供コーナー、休憩コーナー、
ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、
多目的室、キッズスペース、歴史文化コーナー、ホール（おとの聴こえる広場）、
音楽スタジオ、サイクルステーション・ランナーズステーション、展望スペース、
屋外テラス、EV充電施設、サイクルラック

・整備手法：一体型

◆オープン予定：令和6年度

◆特徴

- ・県都である大分市と国際観光温泉文化都市である別府市の間に位置し、優れたアクセス性と観光地が集積する立地を利用した、大分市のゲートウェイとして整備
- ・地元産品を中心に扱うとともに、商品試作協力等による6次産業化支援、オリジナル商品の開発、生産者を支援する体制構築等により地域活性化及び地域経済の発展に寄与
- ・路面電車の展示などによる周遊のきっかけづくりと、歴史文化情報の発信と継承
- ・道路交通・気象情報をリアルタイムに提供する24時間利用可能な情報提供施設を整備

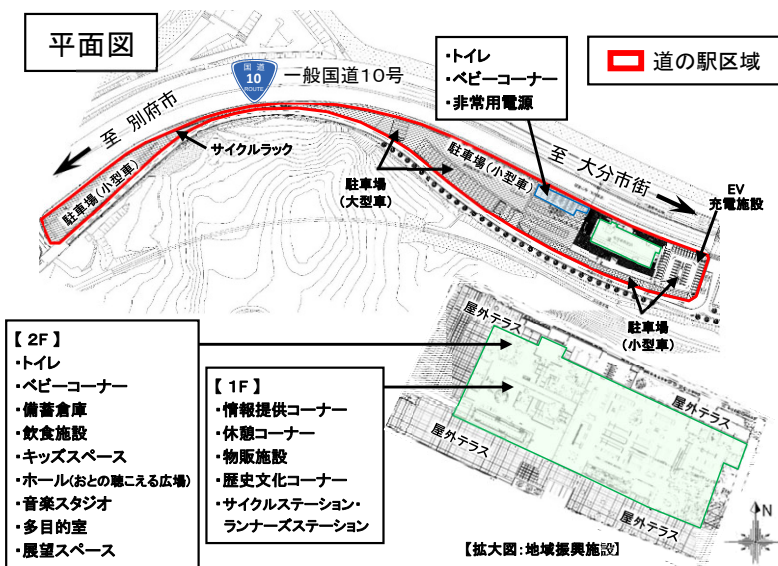
イメージパース



位置図



平面図



位置図





「道の駅」について

1. 目的

「道の駅」は、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供、並びに地域振興に寄与することを目的としています。

2. 「道の駅」の基本コンセプト

「道の駅」とは、地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」であり、災害時は、防災機能を発現する施設です。

3. 機能

「道の駅」は、駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路情報や地域情報を提供するための「情報発信機能」、地域との交流によりその地域が持つ魅力を知ってもらう「地域連携機能」の3つの機能を併せ持つ施設です。

4. 主な登録要件

(1) 休憩施設

- ・ 駐車場：道路利用者が24時間無料で利用できる十分な容量の駐車場
- ・ トイレ：清潔で24時間利用可能なトイレ（原則、洋式）、障害者用トイレも設置
- ・ 子育て応援施設：24時間利用可能な乳幼児に対する授乳やおむつ交換が可能なスペースの確保（ベビーコーナー）

(2) 情報発信施設

- ・ 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供できること

(3) 地域連携

- ・ 地域の歴史文化を紹介する教養施設、地域の特産品等を紹介する農産物直販所などの地域振興施設

(4) 設置者

- ・ 市町村又は、市町村に代わり得る公的な団体

(5) その他の配慮事項

- ・ 施設及び施設間を結ぶ主要経路は、バリアフリーとなっていること